

# 平成 24 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 会議概要

日 時：平成 24 年 11 月 14 日（水曜） 9 時 30 分から 11 時 30 分まで

場 所：習志野市 仮庁舎 3 階大会議室

委員出席者：大島委員（会長）、斉藤委員（副会長）、関委員、伊藤委員、真船委員、金子委員、鯨井委員、廣田委員、小宮委員、海寶委員、大塚委員、越智委員、小池委員

（欠席：小川委員 細川委員）

事務局出席者：宮本市長、島田副市長、諏訪企画政策部長、井澤企画政策部次長、竹田企画政策課長、越川係長、伊東係長、中野主査、柴垣主任主事、三井主事

議 事：

報 告 1・市民意識調査の報告

2・市民会議の中間報告

3・まちづくり提案会の報告

4・現行基本計画の振り返りについて報告

議 題 1・次期基本構想・基本計画に盛り込む施策についての意見交換

2・その他

議 事 録：

会長	<p style="text-align: center;"><u>開 会</u></p> <p>只今から、平成 24 年度第 1 回習志野市長期計画審議会を開催させていただきます。本審議会は、習志野市長期計画審議会条例第 5 条第 2 項の規定によりまして、委員の過半数の出席が要件となっておりますが、本日は 13 名の出席を頂いておりますので、本審議会は成立しております。</p> <p>また、会議に先立ちまして、本審議会の公開・非公開につきましては、平成 17 年度第 1 回長期計画審議会において、原則公開と決したところであります。本日の傍聴者は 3 名となりましたので、ご承知おき下さい。</p> <p>それでは、傍聴者の入室を許可致します。傍聴者の皆様におかれましては、会議を傍聴するにあたり、注意事項を守ることをお願い致します。</p> <p>次に、本日の議事録の署名につきましては、I 委員と A 委員にお願い致します。</p> <p>では、まず初めに、議題に先立ちまして、本日は宮本市長にご出席頂いておりますので、ご挨拶を頂ければと思います。宜しくお願い致します。</p>
市長	<p style="text-align: center;"><u>市長あいさつ</u></p> <p>皆様おはようございます。今日はお忙しい中を、平成 24 年度第 1 回長期計画審議会にお越し頂きまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、今回から仮庁舎では、初めての会議という事になります。仮庁舎で 1 ヶ月と少しが経つわけではありますが、いよいよ明日からは 1 階の東武ストアの開店という中で、この仮庁舎とこの界隈が賑わってくるのではないかな</p>

	<p>と期待しております。</p> <p>そうは言いましても、庁舎機能は更に分散化してしまっておりまして、逆に市民の皆様には、大変なご迷惑をおかけしている部分もございますが、今後、新庁舎の建設に向けて、一步一步、皆さんと一緒に足を進めてまいりますので、どうぞご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。</p> <p>さて、来月には師走という事で、今年も、1年の締めくくりに近づきつつあります。日もだいぶ短くなりました。年度と致しましても、下半期が1ヵ月余り経過し、先月には平成 23 年度の決算について議会の審議が終わり、委員会として、ご承認を頂いたところでございます。</p> <p>現在は、来年度の予算に向けて、編成作業を進めている最中でございますが、本市と致しましては、震災の被災からの復旧・復興をはじめ、学校施設の耐震化、袖ヶ浦に新しく設置予定のこども園の整備等、さまざまな課題につきまして、確実に取り組むべく作業を進めている次第でございます。</p> <p>また、震災で大きなダメージを受けた、昭和 39 年竣工の本庁舎の建物が、9 月末日をもって、多くの思い出とともに 48 年間の歴史に幕を閉じました。そして、ここ旧クレストホテルの宴会場を中心に致しまして、2 階から 4 階までの 3 フロアを 5 年間の契約で借用し、10 月 1 日から業務を開始しているところでございます。</p> <p>庁舎、窓口の分散化によりまして、皆様にご迷惑をおかけしているところではございますが、移転により、福祉窓口に関しましては、ワンフロア化が実現しているところでございます。概ね、お越し頂く市民の皆様にはご理解、ご好評の声を頂けているようでございます。</p> <p>現在、検討中ではございますが、市庁舎が将来的に実現するまで、暫くは庁舎の分散化の状況は継続せざるを得ませんが、職員の一層の窓口サービスの向上を意識し、頑張っまいりますので、ご理解を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。</p> <p>さて、前回、2 月の審議会に於いてもお話をさせて頂きましたが、現在、習志野市基本構想・基本計画は平成 13 年度からスタートして、26 年度までを計画期間としております。</p> <p>しかしながら、震災復興に向けて、まちづくりの計画についても、改めて見直す必要があるとともに、現行の計画策定から、既に 10 年が経過する中で、大きく変化した社会経済情勢についても、計画の中で考慮する必要があることから、計画期間を 1 年前倒しし、平成 26 年度からスタートする新たな総合計画を策定することと致しております。このことにより、市民の皆様は、時代に適した目指すべき都市像、将来に向けた新しいまちづくりの目標を明示してまいりたいと考えております。</p> <p>市民の皆様から寄せられた様々なご意見について、後程、事務局から委員</p>
--	--

	<p>の皆様方へ報告が行われる予定でございます。特に、9 月第 1 週の土日の両日にわたって、合計 3 回開催致しました「まちづくり提案会」につきましては、私も全ての回に出席し、習志野市の将来のまちづくりに対する市民の皆様からの熱い提案を伺いました。</p> <p>我々と致しましては、今後の本市の人口推計、財政予測を鑑みつつ、計画策定に対する市民の皆様の様々なご意見を、どのように構想、計画に反映させていくのかということは非常に重要な課題と受け止めており、策定作業を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>長期計画審議会の皆様におかれましては、次期基本構想・基本計画の策定に向けて、本市の抱えるさまざまな課題、現状を踏まえた上で、ぜひ、目指すべき将来の習志野市のまちづくりの在り方について、忌憚のないご意見を賜りますよう、本日も宜しく願いを申しあげまして、ご挨拶とさせていただきます。どうぞ、宜しく願い致します。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。市長はこの後、公務のためご退席されます。</p> <p>それでは、早速、議事に入りたいと思います。本日の議題は 1 件です。議題に入る前に、お手元の資料に基づいて、報告を 4 件、事務局より説明頂き、その後、報告事項を踏まえた上で、議題であります次期基本構想・基本計画に盛り込む施策について、皆様からご意見等を頂ければと思います。</p> <p>それでは事務局より、説明を宜しく願い致します。</p> <p style="text-align: center;"><u>報告 1「市民意識調査の報告」</u></p> <p>【資料 1 に基づき、事務局より説明。】</p> <p style="text-align: center;"><u>報告 2「市民会議の中間報告」</u></p> <p>【資料 2-1「市民会議の開催経過」に基づき、事務局より説明。】</p> <p style="text-align: center;"><u>報告 3「まちづくり提案会の報告」</u></p> <p>【資料 3-1「まちづくり提案会の概要」に基づき、事務局より説明。】</p> <p style="text-align: center;"><u>報告 4「現行基本計画の振り返りについて報告」</u></p> <p>【資料 4「後期基本計画（平成 20～26 年度）の目標指標及び進捗状況一覧」に基づき、事務局より説明。】</p>
<p>会長</p>	<p>はい、どうもありがとうございました。</p> <p>ご説明頂いた「市民意識調査」や「市民会議」、「まちづくり提案会」の結果につきましては、市のホームページでも公表頂いております。ご覧になった委員の方もいらっしゃるかと思います。</p> <p>次期基本構想・基本計画の策定にあたりまして、市としても、多様なチャンネルを使って、多くの市民の皆さんの意見を伺う努力を重ねてきたという</p>

<p>会長</p>	<p>ことであるかと思えます。こうした貴重なご意見を是非、今後の計画の策定に反映して頂ければと思えます。</p> <p><u>議題 1 「次期基本構想・基本計画に盛り込む施策についての意見交換」</u></p> <p>それでは、議題に入ります。本日の議題は、「次期基本構想・基本計画に盛り込む施策についての意見交換」ということです。</p> <p>ここまで事務局からご説明を頂きましたが、市民の皆さんからの様々なご意見を踏まえて、次期基本構想・基本計画の策定にあたって、盛り込むべき施策について、委員の皆様からご意見、ご質問、或いはご感想を伺いたいと思えます。</p> <p>基本的には、ここまでの資料をご参考にご意見を伺えればということになるかと思えます。</p> <p>では、どうぞ。</p>
<p>H委員</p>	<p>各種資料が出て、いろいろあったと思えますが、市民意識調査の中で、習志野市は「住みやすい」が多いという事でした。</p> <p>ということは少なくともこれまでの市政の方向性というのは、そうは間違っていないかという事で、自信を持って良いのではないかなというように感じました。</p> <p>10 年後の習志野市のイメージ、上位 3 つ、大震災があつてから 1 年 3 ヶ月後のことですから「安全な」「豊かな」「いきいきした」この 3 つは、基本構想を考える中での柱になるかと思えます。</p> <p>「安全な」というと防犯も入りますが、やはりいろいろあつた中で防災対策が重要で、私は袖ヶ浦に住んでおまして、液状化の被災者でもあります。14 号以北に住んでいらっしゃる方との防災に対する考え方に温度差があるようです。</p> <p>大きな災害が起これば、どこでどういう目に遭うかということは紙一重ですから、そういう意味では、当然ながら、市全体を想定した、しっかりした防災施策が必要だと思えます。</p> <p>「豊かな」というところは、これは買い物難民とか、高齢者を考えた買い物手段の整備とか、企業誘致だとか、図書館の話もあります。文教都市ですから、当然、文化も入るわけです。そういうところの施策も必要ではないかと思えます。</p> <p>私は、だいぶ前ですが、アメリカに 4 年程いました。成田市と姉妹都市になっているサンブルーノ市ですが、そこでは市の図書館にカードを登録すると、市内にある大学、コミュニティカレッジと言いまして、その図書館をそのカードで利用できるんです。それから、大学のいろいろな運動施設等も</p>

	<p>土日はオープンになっています。この中にも出ていますが、大学との連携は大事ではないか、と思います。</p> <p>「いきいきした」というのは、人が増える、とりわけ 20 代、30 代、40 代の若い人たちが増えることが何よりも重要で、そのためには乳幼児の医療補助や子育てのための施策、働く場所を確保することが重要です。それから、市民会議での提案にもありましたが、ストリート・ミュージシャンが集まるイベントを実施するというような事も面白いかなと思います。</p> <p>住みたくなる街づくりをどう進めていくかが、なによりも大事だと思いますし、今日の議題には施策の意見交換とありますが、まだ具体的に施策をどうこうと踏み込むのは少し早いのかなと思います。まずは方向性をどうするか、ということが先ではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>そうですね。その通りだと思います。</p>
<p>H 委員</p>	<p>それと、市民意識調査の中にありますが、現行の構想の中に「自己実現」という言葉が出てきますが、確かに難しい言葉で、これからのまちづくりの指針のキャッチフレーズとしては、あまり感心した言葉ではないなと思いました。</p> <p>こういう柱というのは大体決まっていて、「高齢化」と「国際化」と「情報化」、これが大体 3 点セットで全国津々浦々どこも同じです。しかし、「国際化」「情報化」というのは、いつの間にか個人のレベルまで下りてきてしまって、行政がどうこうということではなくなっています。その中で、「高齢化」というのは、ますます逼迫してくる気がします。「高齢化」についても、住みやすいまちづくりの中で「高齢化」をどうするのか。そんなところですよ。</p>
<p>会長</p>	<p>どうもありがとうございます。大変貴重なご意見だったと思います。</p> <p>では、せっかくですので、今、H 委員から出されましたように 10 年後 20 年後の習志野市のイメージとしまして、「安全な」「豊かな」「いきいきした」という市民意識から方向性が出されたという事で、それを足場にして、ここで意見の集約を図っていききたいなと思います。</p> <p>ここでは基本構想を考えましょうという事ですので、そのキーワードとして、皆さんからご意見が頂ければと思います。</p>
<p>I 委員</p>	<p>一点だけ、事務局にお尋ねしたいことがあります。市民の方から、第 2 回のまちづくり提案会で出ております提案の内容ですが、市民の方が直接現場の声として出されているもので、勉強されていてすごいなという思いがあっ</p>

	<p>たんですが、資料 3 の 16 頁の中で、「都市データパック」を参考にした資料を出されております。</p> <p>先程、市民意識調査の中でも、習志野市は住みよさが高いという事でしたが、この中で気になりましたのが「安心度」が 748 位と出ているのですが、これはどういう指標になっているのでしょうか。</p> <p>810 市区の中で、「住みよさ」として総合 85 位になっていて、そのほか利便度も 7 位と高いという好成績の中で、「安心度」がなぜ 748 位という順位なのか、気になりました。</p> <p>こういうところから、次のテーマに向けての必要性というものが出てくるのかなと思いますので、この一点だけ聞かせて頂きたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>先程も出ましたが、「安全な」というのは市民の方が気にされているところがありますが、「安心」というのは心の問題で、「安全」というのは客観的な判断もできますが、「安心」な気持ちを持ちたいという事の中で、「安心度」については順位が低いという事ですがいかがでしょうか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>この住みよさランキングという事で、「都市データパック」が発表しているものではございますけれども、「住みよさ」として総合 85 位にある中で、反面、「安心度」「住居水準充実度」が低くなっています。</p> <p>この「安心度」の指標の中で致命的になっているのは、高齢者の施設の数、充足度のあたりかと推測されます。と言いますのは、やはり高齢化に伴い、施設入所の中で、私どもでは今、特別養護老人ホームは市内に 5 カ所だったと思いますが、その高齢者人口に占めるベッド数の割合が、比較的低いという事で、こういった評価をされているのだと考えております。そういう意味では、この「安心度」というところが、どちらかという都市部の団体はみな同様に低いような状況にあります。これは習志野市だけということではございません、それが一つございます。</p> <p>それと他に、病院、一般診療所、これの病床数の人口当たりの比率です。人口当たりの病院、一般診療所の病床数、それから先程も申し上げましたが、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、こういう入所施設の人口当たりの比率。さらには出生というような部分もこの中には入ってくるようです。どちらかという、比較的都市部の方では辛めの点数が配分されてしまうというところではあります。</p> <p>同じように、住居の方もそうですが、これは住宅の延べ床面積というところはかなり大きく左右しています。ここでは、私どもは大学がありますので、ワンルームの学生さんが多いという部分が、逆に言うと「住居水準充実度」を下にしてしまっているのかなということではございますが、習志野市</p>

平成 24 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 会議概要

	<p>のまちづくりとしては、ここにある意味致命的な部分とは認識しておりませんで、「住居水準充実度」につきましても、学生も多いまちでございますし、そして、団地もございますので、住居水準については、我々も仕方がないのかなと思っております。</p> <p>その「都市データパック」の結果につきましては、指標としてどこを取り入れるかによって、少し都市部に優位に働いたり、不利に働いたりというところが出てくるという現実がございます。</p>
I 委員	<p>内容はわかりました。ありがとうございました。</p>
会長	<p>その「安心度」というのは、もう少し努力をすれば、数値は改善できる見通しはあるということでしょうか。</p> <p>その「安心度」は意識調査等でも出てきますが、高齢化社会に向かっているいろいろな対応、施策が必要な中で、基本的に今後とも、基本構想・基本計画を考える上で、重要なものかと思いますが、そのところは、見通しとしてはいかがでしょうか。</p>
企画政策課長	<p>「安心度」のところは、まさにその施設の入所というところは、私どもなりに特別養護老人ホームを誘致するという事で働きかけが出来るという状況がございますが、ただいずれにしても限られた面積の中で特別養護老人ホームをどのくらいにしていくのかというところは非常に難しいところかと思っております。</p> <p>現在、習志野市でも、入所待機されている方が 500 人弱いらっしゃいます。第 5 期高齢者保健福祉計画の中でも、130 床増やすという計画がございます。30 床は現在の施設の中で増床し、100 床については新しい特別養護老人ホームを誘致するという事で、今準備をしておりますけれども、実現しても、これから募集、更には審査という事も考えますと、やはり 3 年ぐらいのスパンは必要になり、若干時間は必要かなと考えております。</p> <p>ただ、その 130 床が第 5 期という事で、24、25、26 年度までの計画でございますが、やはり 27 年度以降もまだまだ特別養護老人ホームを若干増やさなければならぬという認識はございまして、市有地だけではなかなか対応が出来ないので、今後は、定期借地権に基づき、国有地を民間で借りてもらい、その上で来てください、という方向へ若干シフトしていかなければいけないのかな、ということで作業を進めているところでございます。</p>
C 委員	<p>事務局にご確認したいのですが、今回審議会を開いたのですけれども、多</p>

平成 24 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 会議概要

	<p>分求めているのは、市民会議やまちづくり提案会等と同様の趣旨を意見としてここで求めているのではなくて、もっと大上段に立って、構想についての意見を求めていらっしゃると思うのですが、具体的に今日会議を開いて、何に焦点を絞って意見が欲しいのか、少し分かりやすく説明して頂いてもよろしいですか。</p> <p>そうしないと、皆さん意見が錯綜してしまって、会を開いた意味がなくなるとお思いますので、是非聞かせてください。</p>
<p>会長</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。私の方の説明不足もありまして、今日は、これから基本構想・基本計画を考える上で、皆さんで確認していくという事が、主なのかなと考えておりまして、その材料として、市民意識調査とか、市民会議とかのご意見を基にして、ここで基本構想の策定について、いろいろな意見を確認して、足りない場合はここに力を入れたほうが良いのではないかとか、或いは新しい考え方でこういうふうにやったらいいのではないのか、という大元のところを出して頂き、それを皆さんで確認し、後で事務局に施策としてまとめてもらうという、そのような大きな流れだというふうには考えております。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>率直に申し上げますと、この長期計画審議会、市長からの諮問に基づいてご審議を頂く、という事でございますので、そこの役割については、2 月に、実際には基本構想の素案を諮問してまいりたいと思っております。</p> <p>その前段と致しまして、私どもでも、市民の皆様から多くの意見を伺っているところでございますが、審議会の委員の皆様、特に次期基本構想の中で、ここが柱になってくるのではないかと、という率直な意見を頂ければ、それはそれで是非活用してまいりたいという事で、そこを中心に、今回、ご提案、ご意見を頂戴できると助かります。</p>
<p>会長</p>	<p>では次にどうぞ。</p>
<p>G 委員</p>	<p>基本構想・基本計画のコンセプトと言いますか、公共施設の「機能の統廃合」というのをコンセプトに入れて頂きたいと思っております。</p> <p>一つは、この行政のやって頂いた市民意識調査、それからまちづくり提案会、これはもうもっともな事でございます、私どもとしては、何も異論はないというふうに思っております。しかし、これをどのように実現させていくかという事になりますと、財政的な問題が当然絡んでくるわけです。</p> <p>私は、先に公共施設再生計画検討委員会に委員として出席させて頂きましたが、習志野市は、福祉と教育に非常に手厚く力を注いで頂きまして、施設</p>

	<p>の比重も教育施設が全体の約半分くらいという大きな比重を占めているわけです。</p> <p>そういうことが背景にありながら、財政的にいきますと、いわゆるリサイクルするための予算は約半分くらいしかない。年間 40 億ぐらいかかるところ、20 億ぐらいしかない。こういう現状が一つあると、これをどうして、乗り越えていくかという手段が出てくると思います。</p> <p>一方、3 月 11 日の震災を受けまして、市庁舎の建替えと、これも今、市民の市庁舎を考える会で検討しておりますが、最初は、少ない財政の中で、どのような形で市庁舎を建てるか。場所の問題もあるとして、いろいろと市の自前ではなかなか難しいのではないかという意見もあった中で、PFI や PPP の活用など、いろいろ民間企業を活用するという方策も考えられたのですが、結局今のところは、それはしなくてもよさそうだ、という事です。</p> <p>しかし、市の資金とその起債で賄えそうだという事になりますと、それはそれでよろしいかと思いますが、約 90 億から 100 億かかるという事ですので、そういう問題も含めて再生をどのように可能にしていくかという事になります。</p> <p>近いところの例で行きますと、中央区に 80 年 100 年続いた小学校がありますが、それを取り壊して、小学校の中に、幼稚園、それから子育ての支援施設、老人の施設等を統合して建てる計画が今、進んでいます。</p> <p>つまり、今までの機能別の、図書館は図書館、公民館は公民館、小学校は小学校ということだけでいくと、これは絶対難しいと思います。</p> <p>こういった時代になってきていますので、皆さんの了解を得ながら、この「機能の統廃合」、要するに機能をいくつか併せて再生をしていくという観点から、この基本構想が実現できるのかと思っておりますので、そこを構想の中に取り込んで頂きたいと思います。</p> <p>それから、各委員会からの意見を窓口である企画政策部の方で取りまとめまして、その整合性をきちんと検証して頂いて、この基本構想をつくって頂ければありがたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>どうもありがとうございました。非常に、現実的なところも考えていこうという事で、今、仰って頂いたような「機能の統廃合」。教育という事では、中高一貫だとか、小中高一貫だとか、或いは幼稚園を含めた融合のような形というようなこともあるかと思いますが、そのようなことを考えなければいけないということで、その一例としてお話を頂きました。</p> <p>それでは次どうぞ。</p>
<p>K 委員</p>	<p>G 委員からの意見を受けて、私自身子育て世代ですし、教育に携わってい</p>

平成 24 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 会議概要

	<p>る者として、今までのお話だと、高齢者問題しか出てきませんでした。長期計画では、高齢者と並んで、子育てとか子育て支援のところが大切になってくると思っています。</p> <p>今回、資料を読ませて頂いた中で、今のお話しにもあったように、公共施設の統廃合と関連させて、秋津小学校でやられているようなコミュニティスクールの構想等を基本構想の中に入れて頂きたいなと思っています。</p> <p>それは市民会議ですとか、市民意識調査の中であった「空き教室を開放してほしい」という意見の吸い上げにもなると思いますし、学社連携ですとか高齢者と子どもの関わりですとか、そういうかたちで、市にあっては、こどもの安心や安全に関連してきますし、そういうかたちで考えて頂けるとありがたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>今、お二人の方から意見を頂いたわけですが、事務局の方から何かお答えはありますか。</p>
<p>企画政策 部長</p>	<p>今、最初にG委員から頂きました公共施設を集約する、或いは多機能化をしていくという事については、この事については我々も整理に取り組んでいますし、これから先も市民の方々にご意見を伺いながら、どこをどうしていくのか、具体的にいわゆる再生計画という部分で進めていかなければなりません。</p> <p>このことをやはり次期基本構想の考えの中にきちんと当てはめて、具体的な施策については、この先、長期計画、或いは実施計画のレベルでお示しをしていくこととなりますが、考え方の一つの視点として、基本構想の流れの中にしっかりと組み込むということは必要だと我々も考えています。</p> <p>それから、子育て、或いは子育てに関する施設、施策といった部分につきましても、これは既に人口予測の中で明らかになっておりますが、37年の段階では高齢者人口が20%を越えると出ております。</p> <p>高齢者の数が増えるという事に合わせて、例えば若年人口もあわせて増えていけば、これは人口構成比としては、特に大きな問題はないと思いますが、現状を見ますと、やはり若年層の数は減っていくこととなります。</p> <p>すると人口構成比が上に膨らんでいく、こういった意味では、やはり若い方々が、住みやすい、或いは子育てがし易い、子育てがし易い、こういった施策により、若い方々を習志野市に引き留める、或いは住んでもらう。こうした考え方を基本構想の中に盛り込んで、そして具体的な施策で反映させる。こういうことが必要なのではないかとというのが、私どもの考え方になるということです。</p>

平成 24 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 会議概要

<p>会長</p>	<p>今まで、強調されてきました高齢者問題というようなことですが、実はこれは子育て支援といったようなものと対のようなかたちで考えていく必要があるのではないかとというようなことでした。そして、それを見えるようなかたちで構想の中に入れていってもらえれば良いと思います。</p> <p>それでは次どうぞ。</p>
<p>A 委員</p>	<p>何から話せばいいかと考えておりますが、今、地域の施設の複合ということにつきましては、習志野市自体が小さい市であるという事と、そのコミュニティ区と地区と中学校区と、領域がいくつかある中で、公共施設の再編をどのようにどこの地域でどの機能を置いていくか、ということを確認にする必要があります、それによつての機能複合というのは当然考えられる事です。</p> <p>もう一つは、前回の委員会で申し上げましたが、子育て支援ですとか、高齢者対策ですとか、そこで習志野市自体が他市よりも優っているところが結構あるかと思ひます。</p> <p>これ以上、環境を良くするという施策もあるでしょうし、他市よりも優っているのだから落ちているところを補充していくという考え方もあるかと思ひます。</p> <p>それについては、習志野市と同様な地域特性のある、近隣市との比較検討をやつていまして、もうすぐ資料がまとまる段階ですので、まとまりましたら、ご提示させて頂きたいと思ひます。</p> <p>そういうある程度、ベンチマークを踏まえた上での市の状況というものを踏まえる必要があるかと思ひます。</p> <p>もう一つは、今日資料として提示頂きました内容で、徒歩圏の話があつたかと思ひます。資料 1 の問 21 と問 22 ですが、問 21 につきましては、公共施設の距離がどの程度あれば不都合がないかという設問です。</p> <p>私は、この設問は非常に重要だと考えました。普通は、福祉施設は大体 500m から 600m という圏域で配置している行政が多いですが、習志野市のコンパクトさを考えますと、1 km で良いと考えている人がこれだけ多いという事です。これはコア形成の上で、非常に重要な意見ではないかと思ひます。</p> <p>その次の問 22 ですが、私どもの調査では、高齢者の中でも、独居老人と同居老人でその傾向が違つているという傾向が出ておまして、独居老人の方が、移動距離がはるかに伸びます。</p> <p>それは、同居老人というのは、例えば、家族と一緒に買い物に行かなければ不安だという事で、一人で歩く距離は短いですが、独居老人の方は徐々に伸びていつている。</p> <p>そうになると、60 代 70 代でも、自分の足で活動できる環境にあれば、まち</p>

	<p>自体の整備が整っていけば、比較的 1 km であっても行く可能性があるということも、一つ重要な視点じゃないかなと思います。</p> <p>それから、先程の高齢者施設の件で、今日、午後に近隣市の審議会があるのですが、前回議論になったのが、特老を増床すべきかであり、行政側としては増床を提案してきましたが、我々委員の方からは、それを長期計画に謳っていいのかという話になりました。</p> <p>それよりはマンパワーと言いますか、制度や仕組みを充実させる方が行政の施策として重要じゃないかという意見です。私もそのような意見を言った一人ですが、施設に頼り過ぎる施策が行政の方向として果たして正しいのかどうかということも議論しなくてはいけないと思います。</p> <p>それと「都市データパック」については、我々も非常によく使わせて頂くのですが、枠組みによって、数値が非常に違ってきますので、施設、増床、面積ですとか、そういうもので順位を出していても、それが NPO の活動ですとか、それからそういう仕組みのマンパワーとかも数値化されてなければどんどん大きくなり、偏った結果が出てしまっているという事を理解して使わなければいけないかな、と考えます。</p>
会長	<p>公共移設へ歩く距離は一般的には 500m ぐらいが高齢者の標準だという事で、ここでは 1 km でも可能だという事ですが、そういう人が出てくる背景としては、どういったことが考えられるのでしょうか。</p>
A 委員	<p>昨年、私どもの研究室で行った調査で言いますと、大型スーパーがある場合、近くで買わずにそこまで行って買うとか、評判の良い医者がいれば、近くの医者ではなく、そこまで行く、という結果が非常に多いです。その時に、同じ地域に住んでいる、同居老人は、一人で行くには、そこまで行くのは不安だというようなアンケート調査がありまして、数的に 100 ぐらいだったと思いますので、正確なデータではないかと思いますが、同居老人と独居老人の差は目的が同じであっても、距離が全く違ってきているというのは傾向としては出てきています。</p>
会長	<p>先程の話ではありませんが、習志野市では「安心度」が低くなっているという事で、数値自体は施設を造れば改善します、というような事でしたが、一方で、単に施設を造ることだけが良いという事ではないということです。</p> <p>高齢者対策としては、年をとっても自分で自立できる体制、支援をしていくことが市として重要なのではないか、という事でした。数値に惑わされることはないように、ということですね。</p> <p>それでは次どうぞ。</p>

<p>K 委員</p>	<p>今、A 委員のご説明を受けて質問という事で、話がずれてしまって申し訳ないのですが、私は問 21 を見た時に、基本的には 1 km は 12 分という事で歩いて行けると思うのですが、ベビーカーを押して、2 km、3 km とかは歩かないだろうと思いました。</p> <p>公共施設の統廃合を考えると、路線バスのような公共交通機関とか、コミュニティバスなどがどれだけ充実していて、そのバス停の目の前に公共施設があるとか、そういうことになってくるだろうと思っていたのです。</p> <p>しかし、今のお話ですと、割と歩いて行かれるという話だったのですが、では、赤ちゃんを抱いてその距離を歩くのかどうかという事で、その点がどうなのかという事と、もう一つは、お話の中で、習志野市の高齢者対策や子育て対策は良い方で、他市より落ちている所に関して、今調査されているということだったのですけども、現時点で何が足りないか、という点を教えて頂けると、今日の議論が広がるのかと思います。</p>
<p>A 委員</p>	<p>まず一つ目ですが、これは目安として示されているものなので、実際に 2 km を歩かれるかどうかということではないと思います。</p> <p>それは、高齢者でも車移動や自転車移動は非常に多いです。今、近隣市で進めている調査ですが、公民館などのコミュニティ施設、福祉施設のネットワークと言いますか、施設間利用と言っていますが、近くにある施設を使わないで、遠くにある施設を使っているというケースが非常に多いです。</p> <p>それは、この公民館には音楽室がないから、音楽室があるところを使うというような事で、そういう時に高齢者の利用というのは自転車や車で駐車場の数とは比例しないで、遠くの施設を利用することがあります。</p> <p>その時に、移動に 30 分くらいかけている高齢者が、施設間利用と言いますか、互換、機能補完で使っている率が、正確に数字を覚えてはいませんが、相当数いることは事実としてあります。</p> <p>ですから、この 1 km、2 km、3 km というのは、自転車なり車なりの利用も含めて、その不安があるかないかということであれば、可能性があるという捉え方は、ポジティブな解釈としては良いと思います。</p> <p>それと、今、千葉県内の行政のベンチマークづくりをしています。習志野市を中心にどれが高いか低いかというのはまだ把握できていません。</p> <p>ただ、習志野市が進めているこども園整備にしましても、それから、こども園になる前の幼稚園にしてもそうですが、そういう子どもの施設というのは比較的充実していたという意識があったのと、それから東習志野地区でプレーメンという施設をお手伝いさせて頂いているのですが、その時に、高齢者のための施設ではなくて、子育て支援を充実して欲しいという地域住民の</p>

	<p>声が非常に多かったということもあります。</p> <p>それで、施設の中に、民間保育所に入って頂いたのですが、今は活性化しているようですが、オープン当時は相当数多かったものの、あまり利用されていないという状況がありました。それについては正確な需要と供給のバランスを把握して、行政としては対応すべきではないのかなど、そのように考えています。</p>
<p>会長</p>	<p>時間も後 30 分程ということで、今までは 10 年後のイメージを中心にしまして、ご意見を頂いてきましたが、まだ発言されていない方で、違う観点からご発言頂ければと思います。</p> <p>では次どうぞ。</p>
<p>F 委員</p>	<p>皆さんの意見はごもつともで、これから高齢化、福祉、防災等については他の自治体も同じような内容ではないかと思えます。</p> <p>習志野市の特色という事で、意見としても大学等との連携というのが、かなり多くの方が言ってらっしゃいますが、習志野市の大学は全て理系の大学でございますので、この意見というのは、研究成果等に期待する部分が多いと思えますが、実は大学の最も大きな財産というのは人財でございます。</p> <p>人財の中でも、意外と忘れられているのが、学生です。ものすごい数の学生が、市内にいますし、予備校もたくさんありますので、若者がたくさんいるまちです。</p> <p>私としては、これをなんとか習志野市の活力として活かすべきだと思います。一番身近で言えば、学生は地域経済に貢献してくれる可能性があるわけで、つまり若者が習志野市内でお金を使ってくれるような施策を少し考えてはどうかと思います。</p> <p>今、学生は、大学を出ると東京等に行ってしまうのですが、習志野市の駅に降りてくる、そこでうまく活動してくれると非常に活発なまちづくりができるのではないかというのが、私が一つ感じている事です。</p> <p>同じように人財で言いますと、これからは女性が大きな人財としてクローズアップされていきますので、先程から出ている子育てだけではなく、女性が働きやすい環境、それから高齢者の皆様も、身体が動くうちは働いて頂かないと、これから日本は成り立たなくなりますので、そういう人財という観点から、習志野市の将来を考えてみるというのも、一つのビジョンであると考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>では次どうぞ。</p>

<p>C 委員</p>	<p>基本構想のご意見という事で率直にお話させて頂くと、日本の縮図を解決していく今後 10 年にするべきかと思えます。</p> <p>児童虐待が多いので、0～3 歳の子育ても含めて、どう解決していくかというところを習志野市としてやっていくべきというように思いました。</p> <p>後は、人口減少になりますので、その雇用の減少という部分の視点では、外国からの移民でなくて、女性が参加、進出しやすいように子育てを支援していくという面が大事なのかなと思いました。</p> <p>それから本市は、今、エネルギーを天然ガスに依存、活用していますが、このガス事業も外国から依存しているので、このエネルギーの部分でも、本市として、少しずつ外国に依存しない方向で転換していく事を進めていくべきではないかと思えます。</p> <p>フリーターという社会現象がありますが、本市は市立幼稚園も公立学校も持っていますので、中小企業や最先端の企業がどういう子どもたちを就職させたいのかを察知して、それに合った教育内容、就職を自立する教育カリキュラムを、やはり本市としてやっていくことが大事なのかなというふうに思えます。</p> <p>後は、まちが都市化して住宅地になってきていますが、こういった部分で森林、環境といった部分でも貢献していくことが大事かと思いました。</p> <p>基本構想の意見ということであれば、そういった視点で施策を考えていけば良いのかなと思えます。</p> <p>あと、一点気になったのが、配って頂いた資料 4 ですが、重点指標というのが、どうしても参加者等の数になってしまっています。行政の仕事はどうしても独占なので、公務員の方も一生懸命やってらっしゃって参加数も多いのですが、やはりこの参加した方が、行政のサービスに満足したかという事のほうが大事であって、例えば防犯であれば、夜間、外を歩いていて、安心である人の割合とか、そのほうがよっぽど大事であって、参加数も大事ですが、サービスを受けている市民の満足や行政のおもてなしに関する評価をした方が、よっぽど、市民サービスの充実ということで把握できるのではないかなと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>今、F 委員と C 委員の方から、人財の活用と言いますか、そういうところの考え方についてご意見を頂きましたが、今まで計画等では触れられていないのでしょうか。確認したいと思えます、表現としては出ていなかったと思えますが。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>そうですね。今、お話の中で伺っていて大事なことは、少子高齢化という事の中で、高齢者という事でも、まだまだ活躍頂ける方々がいらっしゃるの</p>

平成 24 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 会議概要

<p>会長</p>	<p>で、マンパワーと言うのでしょうか、ご活躍頂ける場面をつくらなければいけないのかなというふうには強く感じました。</p> <p>その他にも、3 つの大学があり、学生数が多いという事で、学生をもっと活かすような考え方を検討してほしいというような事だったかと思います。</p> <p>他のご意見はいかがでしょうか。</p>
<p>○委員</p>	<p>市民の方からさまざまな意見を頂いていますが、でも今の社会情勢を見ると、この先、希望の持てる社会になるかという、いろいろ見ていると厳しい感じがします。</p> <p>こういった社会情勢の中で、課題というのは、行政の課題も含めて、いろいろ出てくると思うのですが、その情報を集めて頂いて、それでしっかり提示して頂きたいと思います。</p> <p>個々の市民の意見がいろいろ出ているのは良いのですが、やはり社会的に力を入れなければいけないという点はいろいろあると思うのです。そのようなことが漏れてしまうと、やはり社会のひずみだとかの問題が出てきてしまうので、ぜひともそここのところの情報を集めて頂き、そして、この計画の中に提示して頂ければと思います。</p> <p>個々に言えば、いろいろあって時間がありませんので、ぜひそこを宜しくお願いしたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>情報提供につきましては、先程、事務局からも説明がありまして、どのようにサービスを周知していくかを考える必要があります、まだまだ周知という点で問題がありそうだという事ですので、そこが基本構想の中に入ってくれば、有効に情報が出される仕組みができるのかなと思います。</p> <p>では次どうぞ。</p>
<p>I 委員</p>	<p>次期基本構想・基本計画は、長期計画として進めていく状況でございますけれども、このように時代が非常に変化を続けています。世界経済も非常に厳しい状況の中で、10 年前に立てた計画が、今、10 年後のこの時期に当てはまっているのかどうかという視点も、今、すごいスピード感で動いてきている中で、この次期基本構想・基本計画、10 年後の習志野市の在り方そのものが、健全であるということを示す部分が大事であると思います。</p> <p>やはりスパンとしては、5 年間という短いスパンでしっかり事業計画を立てていくことが、今、新しく求められているのではないかと。今までのような考え方の総合計画を立ててということよりも、今、経済が非常に不安定な状況の中で、やはり今、5 年間というスパンで行って、そして、その 10 年後</p>

	<p>も習志野市が持続可能であるというような捉え方も、この基本計画の中では必要ではないかなということ、大きく見た中で一点、意見とさせて頂きたいと思います。</p> <p>それと、先程から子育ての部分が出ておりますけれども、やはり待機児童の問題があります。女性が社会進出をして、税を市に納めていくという視点から考えた時に、女性が働きやすい環境、そして、動きやすい環境を整えていくことは喫緊の課題であると思います。ですので、ぜひ、そのところをまちづくり施策の中でしっかり位置付けて頂きたいと思います。また、習志野市は京成線を中心として、動いています。ただ一つ、JR 津田沼駅南口を抱えておりますが、この南口をしっかりともう少し考えていく必要がある中で、駅前保育などもこれからは充実させていく必要があると思います。</p> <p>そして、やはり、女性が働きやすくなるような、市内で働くよりも他市に出ていく女性が非常に多いです。今、開発も進めていますが、都内からこちらに越してこられるという女性が多いです。やはり駅を使って、都内に出て、働いていく女性が出てきますので、そのところを小さな規模で考えるのではなく、広域的な視野で施策を考えて頂きたい、そのように思います。ですから、駅前保育の充実というのは、しっかり入れて頂きたいというふうに思っております。</p> <p>A 委員 習志野市の 10 年計画ですが、最近、津田沼駅南口の再開発ですとか、東習志野の団地ですとか、大型の団地を誘致しているのが目立ちますが、その時に 10 年先ではなく、30 年先は、そういった分譲のところは世代が変わるわけですから、傾向としては、公共施設の再配置が必要になってきたりします。</p> <p>30 年後に慌てないために、今から、本来は分譲じゃなくて賃貸も入れていけば、また違ってくると思うんですが、そこはいかようにもし難い部分がありますので、30 年後を見据えた 10 年スパンの対策を考えていくべきだと思います。</p> <p>会長 高齢者だけではなく、女性や子育てといったものにも、10 年に限らず、もう少し長期的な視点も入れて考えてはという事でした。</p> <p>では次どうぞ。</p> <p>L 委員 皆様のご意見、もっともだと思ひますし、2 月には事務局の方で、基本構想案をお出し頂けるという事で、さらにそれを見ていろいろ審議をしたいなと思ひます。</p> <p>ただ一点言えるのは、高齢者、高齢者と言ひますが、私も高齢者の部類か</p>
--	---

	<p>と思いますが、確かにベッド数についてとかお話が出ました。</p> <p>実際に子ども達の保育所の待機児童数も随分ありますが、施設の待機老人数の方が圧倒的に多いですね。ということですので、サービスの部分について良くしていくことが大事ですが、やはり最少必要数と言いますか、程度の数字は必要だと思います。</p> <p>それと、先程から I 委員のご意見にもありましたが、女性の働く人たちのことで、どこにでも保育所を造れば良いという事では大変だと思います。ただ市内に働き場所はないのですから、駅前保育という、今のご意見に賛成したいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>施設につきましては、数とそのバランスを取るという事が必要だろうとは思いますが。</p> <p>では次どうぞ。</p>
<p>E 委員</p>	<p>私も同様な意見ですが、この資料を見させて頂いた時に、まず、子育て、それから繋がっていく高齢者。ここがそれぞれ求められてくる場所だなと感じました。</p> <p>ただ、前回と違うのは、公共施設の再生で大きく違ってきているな、と。これは今回、進めていくのであれば、かなり重要なポイントになってくるのかと思います。それが、先程から出ているいろいろなものにかかってくるわけです。子育てにも高齢者にも。ここが一番重要なテーマになってくるのかなと感じました。</p> <p>あと、習志野市はかなり色々なことを今までやってきている。やってきているので、なかなかそれが表に出にくいというのは、やはり周知徹底が出来ていないというところがありますので、まちづくり会議での事が、地域に降りにくい地域が多いようです。そういうところからももう少し、情報を流してもらって、いろいろなものが周知徹底されれば、もっともっと効果があるのではないかという気がしています。</p>
<p>D 委員</p>	<p>私は農家ですが、農業はなかなか肩身が狭いですが、都市農業というのは、新鮮な野菜や食料を供給するわけで、そういう事が市民とのふれあい、共生というところになると思いますので、農業を福祉にというか、高齢者にいきいき働いてもらうとか、遊休農地を減らすとか、そういうことも一つかなと思っています。</p> <p>今、鷲沼台の方で、住宅が開発されているのですが、南口を見ていると、計画的に全部道路とか整備すればいいのですが、虫食いの的に家が建っていて、住宅の前には 6m の道路があるのですが、それ以外は 2m 程度で車も行</p>

	<p>き違えない。</p> <p>そういう未来に禍根を残すような計画をなるべくしないで、長期的に見て、まちが健全に発展できるような、そういう都市計画といったものを行政にはやってもらいたい。</p> <p>あと、調整区域もありましたが、高齢化してきて農業が出来なくなってきたのですが、習志野の場合は結構若い後継者がたくさん居ますので、職住分離ではないのですが、きちっと住み分けて、市民と一緒に農業と生活できるような環境づくりも長期計画に入れてもらえれば、農家としては助かると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>公共施設の民営化の問題、それから農業を中心とした産業の問題といううなところもフォローして頂きたいなと思います。</p> <p>では、これで大体意見を頂けたかと思えます。どうもありがとうございました。終わりに事務局よりどうぞ。</p>
<p>副市長</p>	<p>副市長でございます。大変お忙しい中、貴重なご意見を頂きましてありがとうございました。</p> <p>市長に代わりまして、今日のご意見をしっかりと受け止めまして、事務方の責任者として、まとめていきたいと思えます。まちづくりの計画をどのようにまとめるかというのは、各自治体がいろんなことを考えています。</p> <p>習志野市としては次期基本構想を策定するにあたり、一つは市民の皆様のご意見をどう汲むかという事で、意識調査をやりましょうということ、それから、市民の皆様いろいろな意見を聞く提案会をやりまして、今度は議会の皆さんからご意見を聞く場を設けます。</p> <p>そういうかたちで、いろいろな意見を聞きながら、当然、庁内でも検討会議を設け、それぞれのセクションが作業を急いでおります。したがって、おおよその叩き台的なものが出来てきております。これを、全体としてまとめて、年明けになりますが、審議会の皆さんにお諮り致します。</p> <p>この長期計画審議会は、習志野市で最高の審議会です。つまり、これから市民の皆様はどういったまちをつくっていくのかをお示しをする、そのご審議を頂く審議会ですから、そういう点では、皆様の意見をしっかりと承って、市民の皆さんにしっかりした方針を示して、ご案内のとおり、最上部は「基本構想」になっていますから、これは理念的なものというか、方向性を書いたものとなっております、その下に「基本計画」、いわゆる柱立て、先程からも高齢者や子育て、雇用の問題等々ありましたが、そういったものになります。</p>

	<p>その下に、具体的な「実施計画」、これはまさに本当の意味で、個々に事業や施設をどうするかということをやっていくということです。大きな一番上の「基本構想」の下に「基本計画」があって、更にその下に「実施計画」があります。</p> <p>「実施計画」は、先程、I 委員からお話があったように、よく見えなくてはいけません。今のところは 3 年ずつ実施計画を作って、その実施計画に基づいて予算措置をして、それを議会に審議をして頂いて、具体的に進めていきます。ただその場合は、行政の施策には財源が必要であります。ですから当然のことですが、財政状況を見ながら組んでいかなければならない。</p> <p>それから、もう一つ大きな流れは、消費税の問題がありまして、そういう国との関連も、地域主権、地方分権で降りてきています。かなりのことは地方で考えて、地方で責任を持ちなさいという事で降りてきています。しかし、大元は国の法律に縛られていますので、その動きも見ながら組み立てていかなければなりません。</p> <p>そういうこともありますので、会長を含め、委員の皆様には色々な面でご迷惑をおかけ致しますが、どうぞ宜しくお願い致します。</p> <p>本日はお忙しい中、ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。本日出た意見を参考にして頂いて、計画にしてまとめて頂けるという事です。</p> <p>では、以上で議題については終わりとなりますが、「その他」について事務局より、お願い致します。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>本日は長時間にわたりまして貴重なご意見を頂戴致しまして、ありがとうございました。</p> <p>それでは、次回以降の長期計画審議会の開催について、少しご案内させていただきます。まず、本日のご意見、そしてこれまで頂戴致しました多くの市民からのご意見、更には市議会議員の皆様からのご意見、こういったことを踏まえまして、庁内で次期基本構想・基本計画の取りまとめを進めてまいりたいと考えております。</p> <p>来年の 2 月には、本審議会に諮問というかたちで、基本構想の素案をご提出させていただきます。その後も、3 月、4 月ということで 2 回の審議を経まして、その間 3 月にはパブリックコメントも実施する予定でございますが、5 月に答申という形で、素案に対するご意見というものを頂戴してまいりたいというふうに思っております。この 5 月の答申を頂いた後に、私どもの方は、議会の方にご提案をするという運びになりますので、そこのスケジュールについてはご了解を頂ければと思います。</p>

## 平成 24 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 会議概要

	<p>そして、年明け、2 月中旬から毎月のようにご審議を頂くわけでございますけれども、大変年明けは忙しくなりますが、ご協力のほど宜しくお願いしたいと思います。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
会長	<p>それでは、本日の審議会を閉会と致しますが、ご異議ございませんでしょうか。</p> <p>&lt;「異議なし」の声あり&gt;</p>
会長	<p>ご異議なしということで、本日の議事は滞りなく終了致しました。ご協力、どうもありがとうございます。</p> <p>本日はこれにて閉会致します。長時間にわたり、大変お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: center;"><u>閉 会</u></p> <p>11 : 30 終了</p>